

COLORSCAPE GUIDELINE

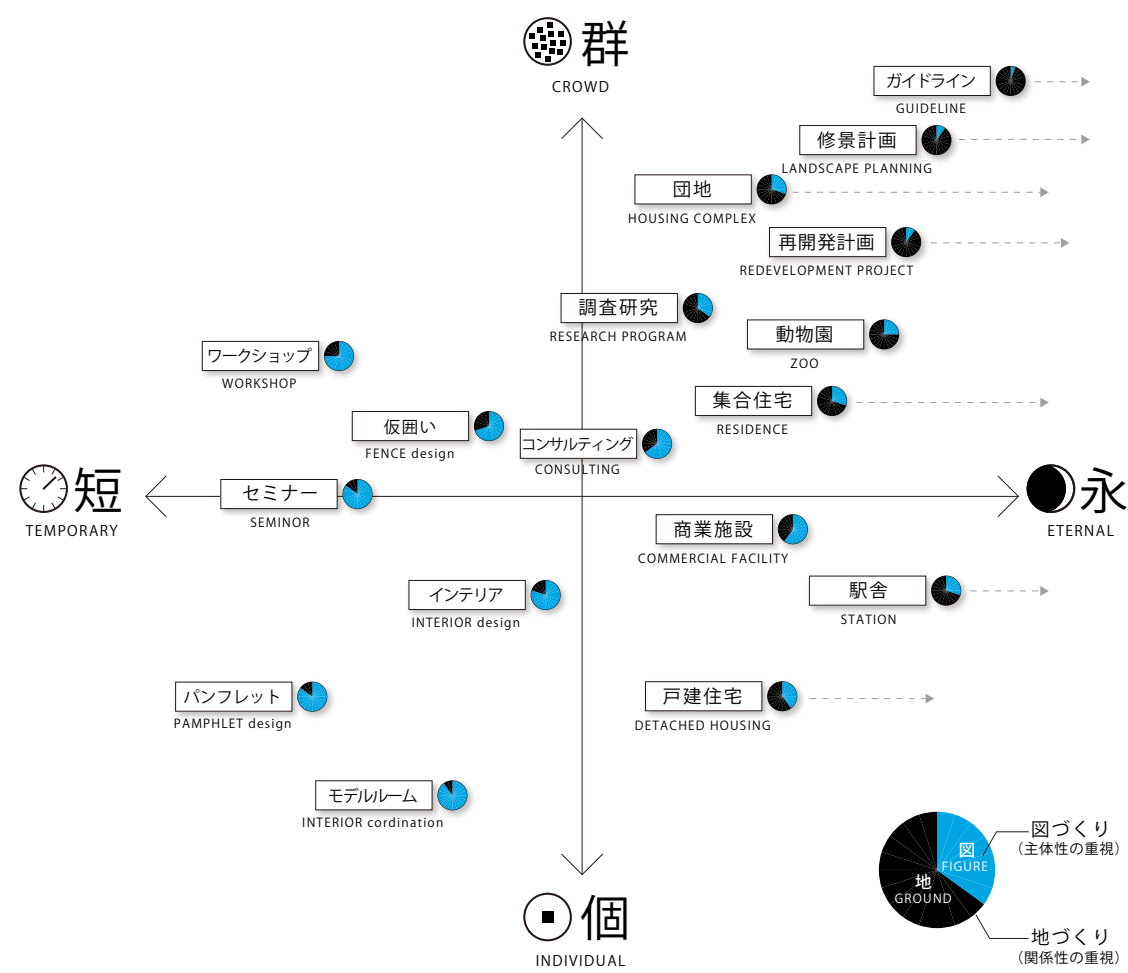
COLOR SYSTEM DESIGN

EXTERIOR COLOR PLANNING

INTERIOR DESIGN

CLIMAT

CLIMAT はフランス語で
風土・気候・雰囲気の意味します。
私たちは、地域や都市ごとの個性を尊重した
「グローカル カラープランニング」
を提唱しています。



色彩計画およびデザインに特化した専門家集団

弊社は色彩計画を主軸に、都市の景観ガイドラインの策定から再開発計画、建築のデザイン監修、インテリアデザインにいたるまで、国内外の垣根を越えた他分野の業務に携わっております。代表の吉田をはじめ、スタッフの多くは大学で教鞭もとおり、また日本各地の市町村において景観アドバイザーや審議会委員としても活動しています。

一貫性のあるカラーマネジメント

センスや好き嫌いで決定されると思われがちな色彩という分野にあって、弊社ではリサーチや学術的考察に基づく論理的なカラーシステムの構築を行い、関係者間で齟齬なく目指すべき方向性を共有する大切さを説いてまいりました。特に長期的な再開発計画や都市レベルのプロジェクトにおいては、上位計画やプロジェクトのコンセプトを丹念に読み解き、初期の段階から一貫したストーリーを提示することで、たとえ担当者が変わってもスムーズな引継ぎを可能にするフローを確立しています。

実効性と柔軟性のある提案内容

プロジェクトの大小にかかわらず、工期や予算といった条件を加味し最大限のパフォーマンスを発揮することを使命と捉えています。色彩は最終的な調整作業によって、人々に与えるイメージ（環境との調和感・信頼感・高級感など）が大きく変わります。建築物であれば最終的な現場でのサンプル確認、インテリアであれば小物のデコレーションにいたるまで、きめ細やかな調整を行うことで最終的な成果の質を担保しています。また、建築設計事務所・ランドスケープデザイン事務所・照明デザイン事務所などと積極的に協働を行うことで柔軟な組織体制を築いています。

有限会社 クリマ

代表取締役 吉田 愼悟
所 在 地 神奈川県川崎市高津区二子 6-7-14
事 業 所 東京都目黒区上目黒 1-4-2 惣秀ビル 3F
TEL 03. 5773. 4670 FAX 03. 5773. 4671
会 社 設 立 1990 年 5 月
取 引 銀 行 三井住友銀行溝ノ口支店
業 務 内 容 都市環境・建築・インテリア・プロダクト製品の色彩計画

<http://www.climat-color.net>
info@climat-color.net

業務内容

Business Contents

1 環境色彩ガイドライン作成と活用

環境色彩の現況を正しく調査・分析し、環境色彩条例の策定を行うと共に、景観形成・保全等に役立てます。



2 カラーシステム・デザイン

地域の特徴を生かした景観形成を目指し、色彩ガイドラインによる景観コントロールの手法を活かした色彩計画提案を行います。



3 外装色彩計画

プランニングの段階から建築設計に参画し、マテリアルの選定も含めた具体的な外装及び共用部の色彩デザインを行います。



4 インテリアデザイン・コーディネート

建築の色彩計画の一環として、インテリアデザイン・コーディネーションを行います。



5 商品開発・デザインコンサルティング

身近な工業製品から環境を構成する各種公共・重機製品まで、細やかな視点で色彩計画を行います。



6 色彩セミナー／ワークショップの企画・運営

全国の自治体の様々な取り組みを交えた専門的環境色彩セミナーや、市民向けの色彩ワークショップ等の企画及び運営を行います。



代表者略歴

Representative Director's Profile



氏名 吉田 慎悟
生年月日 1949年7月5日
本籍 神奈川県川崎市
最終学歴 1972年3月 武蔵野美術大学基礎デザイン学科卒業
学位学士名：芸術学士

職歴

1972 武蔵野美術大学基礎デザイン学科研究室勤務
1973 武蔵野美術大学教授向井周太郎研究室勤務
1974 渡仏 J.Ph. ランクロ教授アトリエ研究留学
1975 (株)カラープランニングセンター カラリスト
1990 有限会社クリマ設立 代表取締役／色彩計画家

大学講師等

1976-1983 阿佐ヶ谷美術専門学校講師
1977-1979 創形美術専門学校講師
1979-1985 町田インテリアコーディネーターアカデミー講師
1984-2000 東海大学教養学部芸術学科非常勤講師
1989- 武蔵野美術大学基礎デザイン学科非常勤講師
1988-1991 西武インテリアスクール IFI 講師
1992-1998 建設省建設大学校 環境色彩計画講師
1992-1996 九州共立大学建築学科非常勤講師
1994-2004 長岡造形大学非常勤講師
1994- 武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科非常勤
1994- 早稲田大学芸術学校非常勤講師
1998-2002 九州芸術工科大学非常勤講師
1999-2006 京都造形芸術大学非常勤講師
2000- 九州大学非常勤講師
2006- 首都大学東京非常勤講師
2006- 国土交通大学講師
2007- 武蔵野美術大学造形学部客員教授
2010- 武蔵野美術大学造形学部特任教授

学会会員等

1972- 日本デザイン学会会員
1987-1995 小田急学会会員
1985- 公共の色彩を考える会委員
1991- 都市環境デザイン会議会員 1996年～2000年代代表幹事
1993- 日本色彩学会会員
1996- 社団法人神奈川デザイン機構会員 1996年～2002年理事
2006- 中国流行色協会海外顧問
2007- NPO 景観デザイン支援機構会員

主な著書

1984 「環境色彩デザイン」C P C 編集 美術出版社
1988 「景観からのまちづくり」共著 学芸出版社
1994 「都市と色彩」共著 洋泉社
1998 「まちの色をつくる…環境色彩デザインの手法」建築資料研究社
2002 「都市のデザイン…きわだつからおさまるへ」共著 学芸出版社
2003 「カラーコーディネーションの実際」共著 東京商工会議所
2006 「カラーインライフ」共著 色彩学会編 朝倉書店
2008 「景観法を活用するための環境色彩計画」丸善株式会社

委員会委員等

2011.07-2013.06 荒川区景観審議会委員 (荒川区)
2004.04-2017.06 景観向上に関する調査研究委員会委員 (首都高速道路技術センター)
2002.10-2016.09 岩手県まちづくりアドバイザー (岩手県)
2006.02-2018.01 小田原市景観評価委員 (小田原市)
2011.10-2017.08 春日部市都市景観アドバイザー (春日部市)
2015.07-2017.06 熊本県景観アドバイザー (熊本県)
2015.04-2017.03 甲州市景観アドバイザー (甲州市)
2014.09-2017.09 埼玉県景観アドバイザー (埼玉県)
2014.04-2016.03 佐賀県美しい景観づくりアドバイザー (佐賀県)
2014.06-2016.05 静岡県景観懇話会委員・色彩アドバイザー (静岡県)
2013.11-2016.3 自転車等駐車場のデザイン作法研究会委員長 (都市づくりパブリックデザインセンター)

2015.04-2016.03 上越市景観アドバイザー (上越市)
2015.11-2017.10 墨田区景観アドバイザー (墨田区)
2015.04-2017.03 茅ヶ崎市景観まちづくりアドバイザー (茅ヶ崎市)
2015.03-2017.02 戸田市都市景観アドバイザー検討会委員
2015.02-2017.01 秦野市景観まちづくりアドバイザー (秦野市)
2015.06-2017.05 八王子市協議審査専門部会委員 (八王子市)

2014.11-2016.10 富山県景観アドバイザー (富山県)
2012- 山梨県景観アドバイザー (山梨県)
2015.04-2016.03 横須賀市色彩アドバイザー (横須賀市)
2015.07-2016.06 横須賀市景観専門委員 (横須賀市)
2015.07-2016.06 横浜環状北線景観アドバイザー会議 (首都高速道路技術センター)
2015.07-2017.06 荒川区景観審議会委員 (荒川区)
2015.04-2017.03 綾瀬市景観審議会委員 (綾瀬市)
2014.04-2016.03 小田原市都市計画審議会 (小田原市)
2014.06-2016.05 静岡県景観懇話会委員 (静岡県)
2015.03-2017.02 渋谷区景観審査委員会委員

2015.03-2018.03 千葉県景観評価審査委員 (千葉県)
2014.11-2016.10 戸田市都市景観審議会・会長 (戸田市)
2015.05-2017.04 秦野市まちづくり審議会委員 (秦野市)
2006.04- とやまふるさと使節 (富山県)
2015.04-2017.05 八王子市景観審議会委員
2015.08-2017.07 富山県景観審議会屋外広告物部会専門委員
2015.06-2017.06 藤沢市都市景観審議会委員 (藤沢市)
2014.07-2016.06 横須賀市都市都市景観審議会委員 (横須賀市)
2012.04-2014.03 東京商工会議所主催カラーコーディネーター検定試験委員会
委員第3分野環境色彩委員長 (東京商工会議所)
2015.04-2016.03 AFT カラーディネーター検定試験作問委員 (AFT)

2004.03- 横須賀市「色がつくる街の景観」ワークショップ講師
2002-2007 Auto Color Awards 審査委員
1993.04- 株式会社タジマ床材開発デザインコンサルタント
2004.03- 日本流行色協会ファッションアドバイザー

環境色彩計画について

吉田 慎悟 著書「景観法を活用するための 環境色彩計画」 序文より （一部変更）

景観法と環境色彩

色に対する趣味は人によって違うので、個人が所有する住宅の外壁色を規制することに反発する人も多くいます。しかし現在の日本の混乱した色彩環境を見ると、個人の所有物であっても多くの人の目に触れる部分の色彩使用については、何らかのルールが必要なのではないのでしょうか。

2005 年 6 月、国は良好な景観の形成を推進するために景観法を施行しました。景観法の基本理念には良好な景観は国民共通の資産であると書かれています。地域の景観を育てていくためには、個人が所有する住宅であっても、その外観は地域景観の構成要素であるということを認識し、周辺との関係に配慮する必要がありますでしょう。

色彩は周辺との関係が整った時に美しく見えます。個人の趣味で勝手に色彩を使っていたのでは、まち並みは地域の資産とはなりません。景観法では地域の個性が尊重されていますが、その個性的な景観を育てていくために、色彩は重要な位置を与えられており、地区を定めて建築物の形態意匠と共に色彩の制限を行うことも可能になりました。今後、日本各地で景観形成が活発化するでしょう。

デザインは付加価値か

20 代の頃、私は著名なカラリスト、ジャン・フィリップ・ランクロのアトリエでフランスのまちの色彩について研究する機会を与えられました。その時出会ったフランスの伝統的なまち並みの美しさは今も忘れません。屋根や外壁に使用されている建材が揃っているために、まちは群としての統一感を持っていました。玄関周りにはそれぞれ個性的な色使いがなされ、それらを見て歩くことはとても楽しいものです。まちが群としての統一感を持ち、それぞれの家の個性的な表現はその統一感の中で行われていました。

世界中の伝統的な建築物の建材は、基本的に地域で産出した石材や木材が用いられています。それはその土地の気候・風土に育てられたものです。そこに住む人達は地域の自然がつくった色彩を基調として、様々な工夫を凝らしてまちの風景を育ててきました。

地域の色彩を知り、それらを尊重して風景を育てていく手法は、私のカラーデザインの基本となりました。大学時代に出会った日本のデザインは、ものづくりに偏重しており、売れる造形を競っていました。そこではモノが置かれる場に対する配慮が欠けており、形態や色彩の目新しさばかりが求められていました。

色彩はモノに付加価値を与えるだけのものではないと考えていましたが、学生時代にはその具体的な展開方法は見つかりませんでした。地域素材を使った統一感と個性を併せ持つフランスのまちとの出会いは、新しいデザインのあり方を予感させたのです。

色はお化粧ではない

フランスで、地域に蓄積されてきたものの中に規範を見つけ、そこに時代の創造性を加え、風景を育てていく手法に出会った時、付加価値としてのデザインとは決別することができました。風景は外側から飾ることではなく、内側にある人々の暮らしが表出したものです。環境色彩デザインを建物の化粧術だという人がいますが、統一性と個性を併せ持ったフランスの伝統的なまち並みを見た時から、私は色彩は表面に施した化粧ではなく、内面を映し出す皮膚としてあるのだと考えるようになりました。

最近 は市民参加のまちづくりが活発になってきていますが、私もこのような活動に参加する機会が多くなりました。カラーデザイナーとして外部から色彩を提案するだけでなく、地域活動に参加してまちを活性化することが、内部からしみ出る皮膚としての色彩をつくるために必要であると考えたからです。

細分化されたデザインをつなぐ色彩

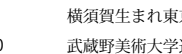
環境色彩計画は単に建物に合ったきれいな色彩を提案することではなく、地域の風景をつくるためにあります。そしてその風景は地域の暮らしと深くつながっています。そのためには地域を理解することが重要です。流行を先取りした新しい色彩でまちを飾ることではなく、そこに蓄積されてきた色彩を、地域の人達が認めることが大切だと考えています。

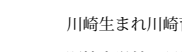
環境色彩計画はまだ一般にはなじみの薄い分野です。しかし色彩はすべてのデザイン分野と関わっており、細かく分割されたデザイン領域をつなぐことができます。環境色彩計画は、まちを媒介としてこれまでのデザイン分野を統合する新たなデザイン領域でもあるのです。

吉田 慎悟

スタッフ

Staff Profile

	加藤幸枝 取締役・色彩計画家
	横須賀生まれ東京育ち
1990	武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科卒業
1990 -	有限会社クリマ勤務
2005 -	静岡文化芸術大学デザイン学部非常勤講師（色彩デザイン）
2006 - 2010	首都大学東京システムデザイン学部非常勤講師（色彩学概論）
2007 - 2010	武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 非常勤講師（色彩論）
2008 - 2011	武蔵野美術大学 基礎デザイン学科 非常勤講師（色彩論Ⅰ）
2013 -	武蔵野美術大学 基礎デザイン学科 非常勤講師（色彩論Ⅱ）

	依田 彩 カラリスト
	川崎生まれ川崎育ち
2000	獨協大学外国語学部仏語学科卒業（学科主席）
2000 - 2002	フランス留学、ジャン・フィリップ・ランクロ教授のアトリエにて研修
2004 -	有限会社クリマ勤務

委員会委員等	
2002 -	高津区まちづくり協議会委員
2002 - 2004	川崎市都市計画マスタープラン高津区構想検討委員会委員
2004	川崎市自治基本条例検討委員会委員
2007	川崎市自治推進委員会委員
2008 - 2009	川崎市都市計画審議会市民委員
2014 - 2016	川崎市都市計画審議会市民委員
2014 -	NPO 法人 DT08(ディーティーエイト) 理事
2016 -	木更津市景観審議会委員／川崎市都市計画提案制度小委員会市民委員
賞暦等	
・「グッドベインティングカラー 2000」特別賞 (2000)	
寄稿等	
・「サインズインジャパン」109 号『パリと東京のストリートファニチャーの色』共著 （2003）	
・「建築士」会報 Vol.65 No.763『まちの色 第 4 回建築外装の配色と色彩調和』(2016)	
講義・セミナー等	
・静岡県景観講習会 講師 (2014,2015)	
・造園シンポジウム「街並み、建築物と造園空間の色を考える」講演 (2014)	
・山梨県景観セミナー 講師 (2015)	
・山梨県屋外広告物講習会 講師 (2015)	

	山田 敬太 一級建築士
	神奈川生まれ東京育ち
2007	慶應義塾大学環境情報学部卒業
2008	ヘルシンキ工科大学 (現 アアルト大学) 建築学科 Wood Program 修了
2010	慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修了
2014 -	有限会社クリマ勤務
賞暦等	
・GS Design Workshop 2008 最優秀賞 (2008)	
・左近山団地中央地区団地再生コンペティション 審査員特別賞受賞（2015）	

	小林 千晶
	埼玉生まれ神奈川育ち
2014	文部科学省後援 色彩検定 1 級取得
2016	多摩美術大学美術学部環境デザイン学科卒業
2016 -	有限会社クリマ勤務
賞暦等	
・多摩美術大学卒業制作優秀作品（2016）	
・日比谷ランドスケープデザイン展出展（2016）	
・第 57 回全国大学・高专卒業設計展示会 出展（2016）	
（主催：一般社団法人日本建築学会／一般社団法人日本建築学会東北支部）	

Project Staff

	片岡 照博 デザインディレクター
	東京生まれ東京育ち
2002	工学院大学建築学科都市建築デザインコース卒業
2003	早稲田大学芸術学校都市デザイン学科卒業
2004 - 2016	有限会社クリマ勤務
2011 -	首都大学東京システムデザイン学部非常勤講師（色彩学概論）
2015 -	株式会社コトナ 代表取締役

COLORSCAPE GUIDELINE

CLIMAT が考える 色彩による景観形成

まちの特性を把握し、ふさわしい色彩構造を構築する

景観を色彩でコントロールするという考え方は、景観法の確立により全国的な広がりを見せています。今後はそれぞれの地域ごとに、その地域の個性を生かした特色ある景観形成が求められるようになるでしょう。

私達は細密な環境色彩調査により、その地域の特性や景観資源を探り、対象にふさわしい色彩ガイドラインづくりを進めて行きたいと考えています。失われつつあるまちの地となる色彩。建築・構造物だけでなく、自然景観や土の色などのデータも収集し、まちの色彩構造の再構築を目指します。

システムの活用を促し計画の実現に繋げる

ガイドラインはあくまで計画を進めるための指針です。ガイドラインが完成したからと言って、数年後まちなみが見違えるように美しくなる、と言った可能性はまずありません。私達は色彩ガイドラインという“ツール”を用い、様々な分野と連携・調整を図りながら良好な景観の形成に寄与して行きたいと考えています。

そのため、ガイドラインを有効に活用してもらうための様々な仕掛けや、モデル事業等の立案など、ガイドラインの活用や運用の分野にも力を注いでいます。

全体と部分、双方を行き来し続ける

自治体の土地利用方針や景観形成方針等、色彩ガイドラインを作成する際はそれらの方針との整合性を図り、常に地域や地区全体のまちづくりのあり方を意識しています。

一方、個々の集積がまちを形成することも事実であり、まちを歩いている時、一つ一つの建築・構造物の色彩が調和感を持ち美しく感じられることも大切です。

色彩の基準を設け、全体を広い視野でコントロールする力と、詳細な検討とデザイン力により個々の質を高める力。私達はその両方を良いバランスで満足させることを目指しています。



1500 余年の歴史を持つ雲崗石窟の露天大仏。大同の歴史ある風景を守り、育てていくために、色彩による景観のコントロールが着々と進行している。

世界遺産にふさわしい都市景観を

ここ数年、中国はいずれの都市も建築ラッシュで、特に北京オリンピックの開催決定以降は、そのスピードが加速しました。世界各国から多くの観光客が訪れるようになり、世界に誇れるまちづくりを目指して、様々な開発が進められています。

山西省大同市は世界遺産に登録された石窟があり、観光資源に恵まれた都市です。私達はそのようなまちの個性を生かした色彩ガイドラインを作成するべく、様々な視点から環境色彩調査を行いました。

色値の範囲を決めた色彩基準だけでなく、行政による指導・誘導がよりスムーズに進められるよう、『大同 150 色』を選定し、都市計画の景観類型に合わせ、具体的な配色方法を盛り込んだパンフレットを作成しました。



01



02

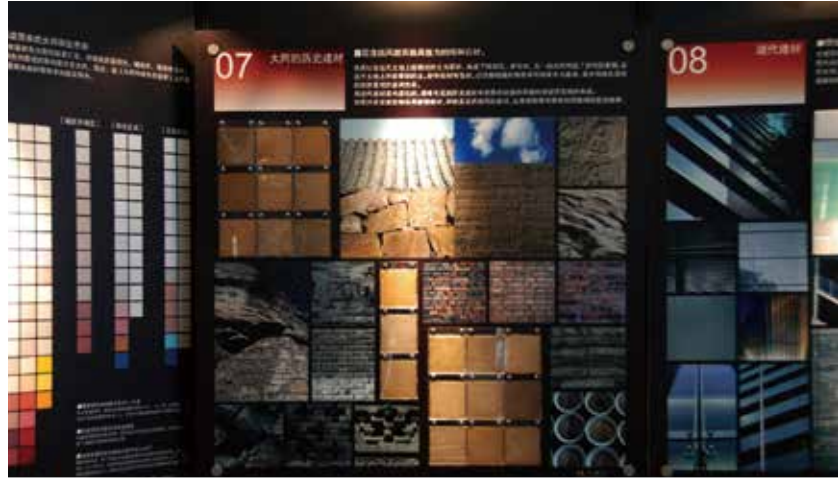


03

- 01 / 426 枚の特注釉薬タイルでつくられた九竜壁
- 02 / 基調色の多くは低彩度色が中心
- 03 / 歴史地区を含め市全体の色彩調査を実施し、色彩の傾向を把握した
- 04 / 『大同 150 色』一覧



04



05



06

5つの景観類型に対応した配色システム

『大同 150 色』は、基調色・補助色・ストリートファニチャー・広告色・大同テーマカラーにより構成されています。

これらは環境色彩調査のデータから、景観の阻害要因となっている高彩度色や、人工的な印象を強調している寒色系の中彩度色などを省き、色彩調和が容易に構成できるように、選定したものです。この 150 色を景観類型と呼ばれる都市計画の分類に合わせ、建築物の用途に合わせた具体的な配色例を作成しています。

大同の色彩ガイドラインでは、このように応用の部分にも力を入れており、ガイドラインが広く有効に活用されるような仕組みづくりを行っています。

- 05 / 調査結果や提案内容をパネル展示の様子
- 06 / ガイドライン報告会の様子。5 色の大同テーマカラーを使ったバナー
- 07 / 大同環境色彩ガイドライン：5つの景観類型

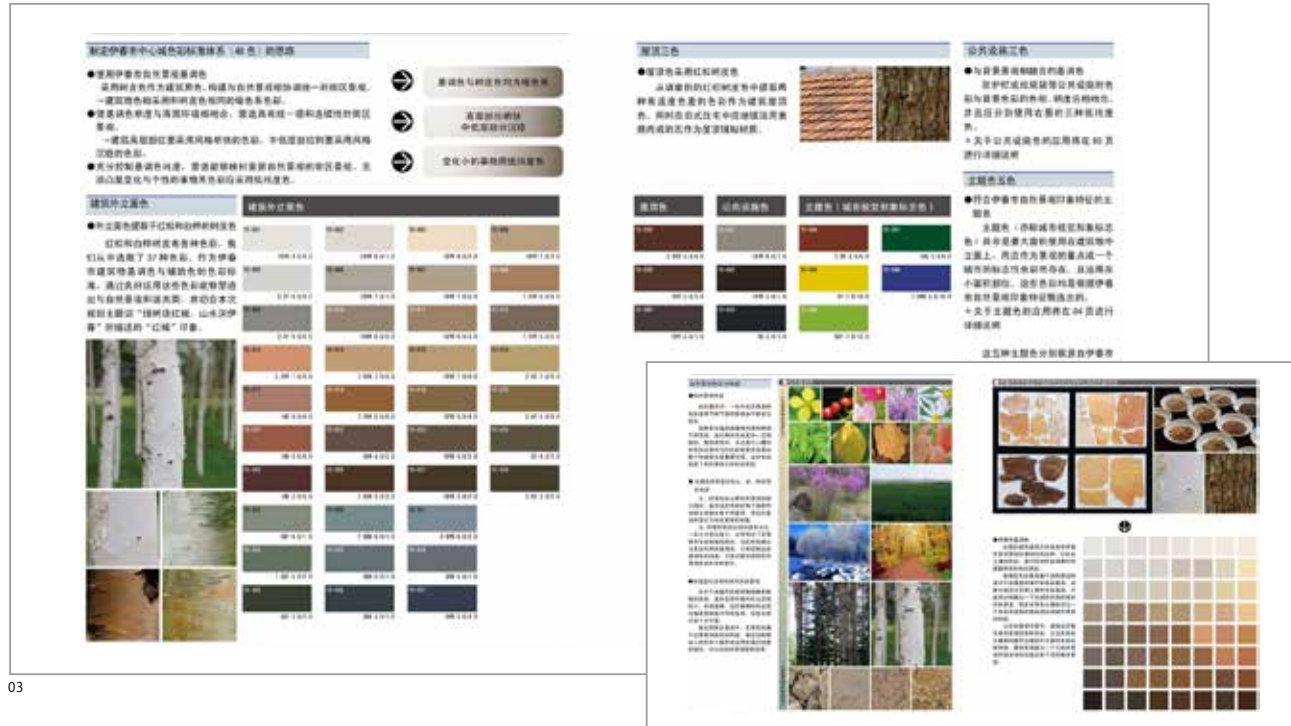


07

伊春市環境色彩ガイドライン



中国の最北・黒龍江省にある伊春市。「生態都市伊春」というキャッチフレーズを掲げ、雄大な山々や川辺の清々しい景色が印象的な、自然資源に恵まれた観光都市です。環境色彩計画では、この伊春の魅力である豊かな自然をより生き生きと魅力的に見せるために、自然の緑と対比の強い高明度色・高彩度色を制限すると共に、建築物の用途に応じたきめ細やかなカラーシステムを構築しました。ガイドラインでは色彩基準の他に、伊春の自然景観色から抽出した『伊春環境色彩 48 色』を策定しました。48 色には建築外装色の他、広告色・ストリートファニチャーカラー等の推奨色が含まれており、景観構成要素を総合的にコントロールし、多様な魅力の感じられるまち並みの創出を目指しています。



01 / 伊春の豊かな自然景観に溶けこむ民家の瓦屋根。地域の伝統的な風景が持っている色彩を知り、現代の景観形成に生かしていくことを検討した

02 / 自然景観の基調色、樹木の幹や土で出来た瓦などの色を収集し、自然界の色の構成を把握した

03 / 伊春の自然景観色から抽出した『伊春環境色彩 48 色』

04 / 伊春環境色彩 6 体系

05 / 伊春タウンアイデンティティ構築

6つの用途地域に応じたカラーシステム構築

4つの行政区により構成された伊春市。まちの骨格や環境整備の方針を踏まえ、色彩調査結果を総合的に精査した上で、主要な 6 つの用途地域ごとにカラーシステムを構築しました。行政が継続的かつ相互の連携を図りながら監視・指導が行えるよう、各景観目標を漢字・文字で表現し各体系のイメージ化を図ると共に、具体的な計画方針と配色展開例を提示しました。また、自然と調和した色彩景観を目指す『生態都市伊春』を実現するために、遠景・中景・近景による色彩景観の展開例を作成し、色彩計画を実施したまちの将来イメージを具体的に示し、色彩調整の効果を共有できるような提案を行いました。

『生態都市伊春』タウンアイデンティティ構築

魅力的なまちづくりを実現するためには、色彩的な調和の取れた美しいまち並みの形成と共に、地域文化の向上や産業の活性化などのソフト面を強化し、相乗的な運動を仕掛けていくことが不可欠となります。そこで 48 色の中にまちのテーマカラー 5 色を設け、伊春の周知活動に役立てられるように展開例を示すと共に、伊春の特産を生かしたタウンアイデンティティ構築を掲げ、まちの醸成を目的とした様々な掛けつくりにおける提案を行っています。



01

景観づくりは関係性づくり

クリマでは 2011 年より山梨県内各地の修景計画や景観形成モデル事業等に従事しています。山梨は都内からわずか特急で一時間半程度の距離ですが、雄大な山々に囲まれた盆地景観や湖面に映る富士山の姿に圧倒されます。そうした雄大な景色に出会う一方、かつて多くの観光客で賑わった当時の看板や施設が適切な整備がなされておらず、せっかくの景観を阻害している場面に出会うこともあります。

クリマがこれまで関わってきたいくつかの業務は、富士山世界文化遺産登録に向けた修景イメージ作成の一環です。富士山周辺では自然環境だけでなく周辺の歴史的資源を含め、次世代に繋ぐべき観光地としての“らしさ”をあらためて掘り下げていく時期にきています。



02



03



04



05



06

- 01 / 山梨県南都留郡 忍野村
- 02 / 誘目性のヒエラルキー
- 03 / 本栖湖の湖畔にあるサイン改修イメージ
- 04 / 清流・桂川に建つレストランの改修前後
- 05 / 河口湖湖畔のボート小屋改修イメージ
- 06 / 本栖湖湖畔に立つ売店の改修イメージ



01



4

人と動物の動きが映える色彩計画

井の頭自然文化園内にある「童話の森」の改修工事に合わせ、外装色彩計画を行いました。また、各舎の色彩計画と同時に、隣接する他のゾーンや、園路沿いに置かれたストリートファニチャーを含めた、井の頭自然文化園全体の環境色彩ガイドラインを策定しました。色彩ガイドラインを設けることで、各施設の修繕や更新を経ても長期に渡り利用者が快適に過ごすことができる環境を確保することができます。



02

計画に先立ち、園内で用いられている色彩の現況調査を行いました。測色調査によって、多くの舎が高彩度色で塗装されており、動物や園内に植わる豊かな植栽よりも外壁の方が目立っていることを確認できました。部分的な補修を繰り返し、その場その場での対応によって、多様な色が混在してしまっている状況を、改修を機にどのように解決するかが問われました。



03

01 /
改修後の園内の様子

02 /
改修前に園内で用いられていた外装色

03 / 改修前の園内の様子

04 / 05 / 08 09 / 10
改修後の園内の様子

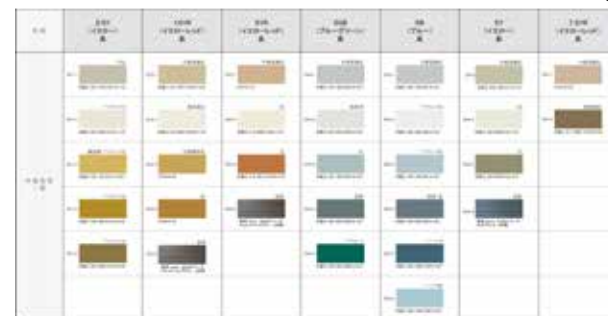
06 / 改修後のカラスキム

07 /
色彩計画検討時の着彩立面図

0.



3



06



9



0.



0

COLOR SYSTEM DESIGN

CLIMAT が考える カラーシステムデザイン

再開発事業等におけるシステムデザインと色彩調整

自治体のガイドラインほど規模は大きくありませんが、近年盛んな駅前再開発や、大規模団地の建替え事業等において総合的な色彩のコントロールを行う例も増えつつあります。様々な事業者が集う再開発事業では、そのプロジェクト独自の基準が必要となります。更に相互の設計デザインを調整する場が設けられ、建築やランドスケープの専門家が第三者として協議に加わり、デザイン決定に承認が必要となる場合もあります。

私達はこのようなプロジェクトにおいて色彩計画の基準づくりに関わることはもとより、アドバイザーとしての参画や、事業者側の計画設計者として実務に携わる場合もあります。

いずれの場合も、全体と個、それぞれの視点においてべきことを意識しながら、計画に総合的に関わることの意義を形にして行きたいと考えています。

団地修繕のための色彩計画

昭和 30 ～ 40 年代に住宅不足を解消するために建設された団地は、10 数年おきの修繕を繰り返しながら、今も多くの人々の暮らしを支え続けています。弊社では 90 年代より、このような日本各地の団地修繕時の色彩計画に携わっています。

大規模な団地では修繕の期間が長期にわたる場合や、数年ごとに分けて行われる場合があります。団地修繕のためのカラーシステム・デザインは、そのような時間の経過にも対応できるよう、全住棟の配棟配色を検討すると共に、配色システムの標準化など、計画がスムーズかつ確実に実現するための手法を構築し、実践してきました。

修繕は建築形状の変更や増築がないため、全体のボリュームや規模には変化はありませんが、外装色彩の変更によって敷地全体の印象を大きく向上させることが可能です。



01

協議型の総合的なデザイン調整

埼玉県狭山市にある西武新宿線狭山市駅西口に位置する駅前広場の計画です。地形の高低差や駅からの眺望を生かし、西口周辺の回遊性が賑わいへと繋がる駅前空間が整備されました。バス・タクシーターミナルとしての交通機能の場としてだけでなく、市民の憩い・安らぎ・楽しみ、そして喜びの創造のためにつくられた広場は、地域で長く育まれてきた七夕祭りをはじめ、市民参加による文化活動を誘発する空間づくりが具現化されています。

駅前広場の整備と共に、市民ホールや住宅・商業施設などの建設が段階的に行われました。本プロジェクトではそうした建築・土木・造園・サイン・照明等、多様なデザイン領域が一体となってデザインを進める必要があったため、計画の初期段階から「相互のつながり」をどうデザインするかという調整に多くの時間が費やされました。建築家・南條洋雄氏が座長を務めたデザイン調整会議及び実施設計段階の色彩調整会議といったデザイン監理手法により、計画から設計施工まで一貫したデザインコンセプトが保たれています。

クリマでは各設計者の検討・提案に対し、周辺環境や既に整備の完了した先工区の状況等を踏まえ、連続する都市空間としての一体感の形成や様々な部材の素材・色彩選定についての調整業務を担当しました。ごく低彩度のウォームグレイの繊細な濃淡の変化が、現代的な軽やかさの中にも穏やかで自然な温もりが感じられる環境となっています。

01 / 暖色系低彩度色で揃った明るく開放的な駅前広場

02 / イベント時のディスプレイが印象的に見えるペDESTリアンデッキ

03 / 緑地帯の緑が映える低彩度色のペーヴメント

04 / 05 / 06 / 07 細部に至るまできめ細やかな色彩調整を行った工作物



02



03



04



05



06



07



01



02

色で表現するリノベーション

福岡県北九州市にある城野団地の外壁修繕色彩計画を行いました。北九州市は国の「環境モデル都市」に認定され、この城野団地を含む城野地区も市民が直接見て感じることができるためのリーディング・プロジェクトに位置づけられています。

市の取り組みを受け、本プロジェクトでは「環境」や「先進性」を意識したカラーデザインを検討しました。



03



04



05



06



07



08



09

城野団地では、団地内の豊かな緑や団地の背後に見える山並みとの調和に配慮し、自然界で見られる色彩でまとめ、緑と一体的な空間を目指しました。形状が揃った中・低層の住棟が連続しており、全棟同じ配色では単調になる恐れがあることから、1棟に対し基調色を4色展開し、塗り分け位置も棟ごとに変えることで適度な変化の感じられるファサードを演出しています。展開する色相もYR(イエローレッド)系〜GY(グリーンイエロー)系までとやや広めの多色相とし、華やかな雰囲気演出しています。

特徴的なのは、妻面に施した住棟番号です。より大きく縦横変えてグラフィカルに展開することで、サイン性を高めると同時に、楽しい雰囲気を演出しました。外観を大きく変えることで、ゼロ・カーボンを目指した先進街区に相応しい新奇性と賑わいを演出するとともにこれまでと違った団地の住まい方を提唱するメッセージも込めています。

本プロジェクトは色彩により新しい価値を付加する試みが認められ、グッドペインティングカラー 2013 の優秀賞を受賞いたしました。

01 / 城野団地全景

02 / 改修する城野団地住棟のカラーシステム。暖色系を中心とし、豊かな団地内の緑や背景となる山との調和に配慮している。

03 / 改修前の団地の様子

04 / 05 住棟の配色指定図と改修後の様子。カラーデザインでは、「環境」をキーワードとし、低彩度のGY(グリーンイエロー)系も展開した。

06 / 07 / 08 5層の住棟。明度対比を大きくとり、メリハリのある雰囲気に仕上げた。サッシ面は多色を展開し、控えめながらも適度に变化のある雰囲気を演出している。

09 / 基調色は、やや色味を感じさせる中彩度色を積極的に展開しているものの、中明度色を中心に展開することで、派手になり過ぎないように考慮した。庇などの明度対比もしっかりとり、メリハリのあるデザインとしている。

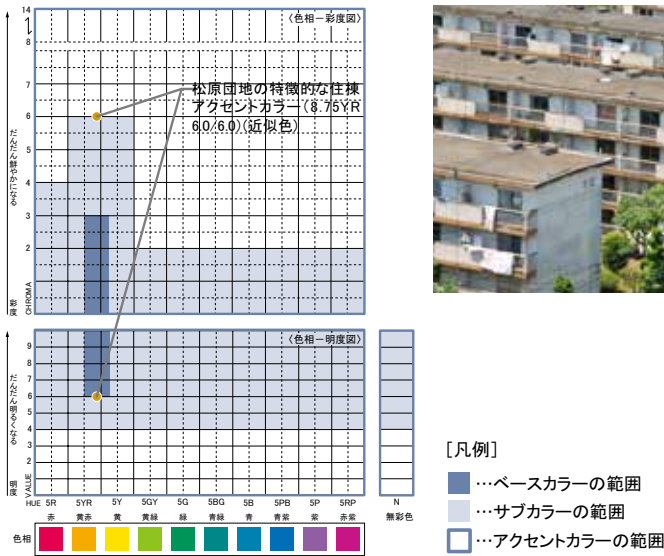
10 / ランダムに展開された色味のある基調色と妻面の大きくグラフィカルな住棟番号で新奇性と楽しさを演出しています。

“記憶色”の継承による
団地再生

かつて東洋一の規模と謳われた草加松原団地は、駅前の第一工区の実施計画の際に、全体の色彩基準づくりを検討しました。本計画では、今後様々な変化が予想される地区全体の構造や、各ブロックの特性に応じることが可能な、柔軟性のあるカラーシステムを構築しています。また、機構団地の建替えにおいては、既存の団地に展開されていたアクセントカラーを一部で受け継ぎ、歴史ある団地の“記憶”を再生することを試んでいます。



01



ベースカラー (基調色)	色相：5 YR(イエローレッド)系～2.5 Y(イエロー)系 明度：6.0 以上 彩度：3.0 以下
サブカラー (補助色)	色相：全色相 明度：4.0 以上 彩度：R系：4.0 以下／YR系・Y系：6.0 以下／それ以外の色相：2.0 以下
アクセントカラー (強調色)	色相：全色相 明度：自由 彩度：自由

02



04



05



06



07



08



09



10

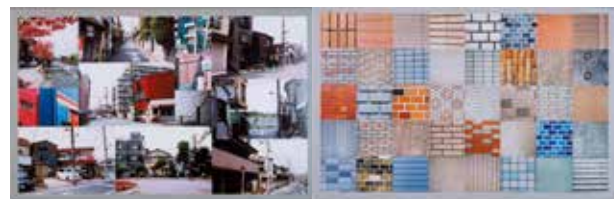
- 01 / 建替え後の住棟に展開された松原団地の記憶色
- 02 / 色彩基準と色彩基準をマンセル分布図に示したもの
- 03 / 建替え前の松原団地
- 04 / 地区全体の空間構成を分析し、色彩イメージをまとめたもの
- 05 / 明度の異なる色彩をバルコニースラブに交互に展開し、色彩による分節化を行い、長大な壁面が持つ圧迫感を軽減した
- 06 / 住棟とカラーシステムを変え、植栽と調和するよう落ち着いたG(グリーン)系色彩を基調とした駐車場
- 07/08 低彩度の落ち着いた色調にまとめられた駐輪場や外構構造物
- 09/10 建替え後の住棟に展開された松原団地の記憶色



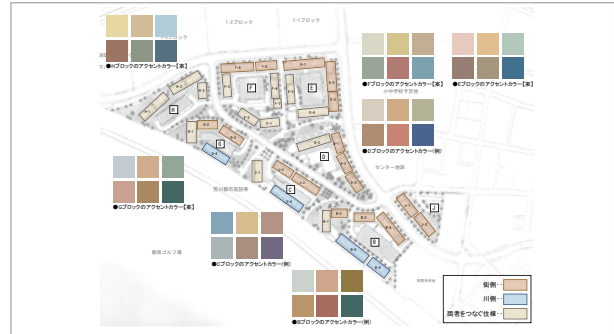
01

まちの奥行きと賑わいを演出する色彩計画

新田地区の色彩計画は、地区全体の外装色彩計画の考え方を検討し、カラーシステムを構築した上で、ブロック毎の実施計画を進めていきました。カラーシステムは住棟配置を基に検討し、既存の環境との連続性に配慮した街側と、明るく開放的な印象の川側の配色に変化をつけています。また、計画地周辺は規模の小さな住宅や工場が集積する環境であるため、まちの持つ多様性を色彩によって再構築し、奥行きを生み出すことを目指しました。



02



03



04



05



06

01 / 暖色系の低彩度色 (彩度 1.5 ~ 2.0) を基調とした街側の住棟群。ブロック毎に設計者は異なるが、地区全体の統一感を構築するため、デザイン会議によってブロック相互の調整を細密に行った。

02 / 計画地周辺の建物群の素材を収集したもの。この多様さは地域の個性の一つであり、新しいまちにこの要素を整理して取り入れることを提案した。

03 / ベースカラーの基本方針とアクセントカラーの配色案

04 / オフニュートラル (彩度 0.5 ~ 1.0) 色を基調とした川側の住棟群。手摺壁には明度の高い明るい色調を用い、川側の広がりを感じさせる景観を形成した。

05 / 06 アイレベルでは積極的に色彩による分節化を図り、賑わいの創出に配慮している。



01



02



03



04

改修による魅力ある住宅景観づくり

都市再生機構の大規模団地は、近年一斉に大規模な修繕の時期を迎えています。住棟数の多い団地の場合、外装色彩の改修には長い期間を要します。これまで、その都度補修という観点においてのみ、外壁の塗装は行われて来ました。しかし、良質な住宅景観を形成するためには、団地全体の保全・育成という視点を持った色彩計画の必要性が議論され、全住棟の配棟配色を含めた団地全体の色彩計画が数多く実施されています。

飯島団地は、左近山団地や他の同年代に建設された団地と同様の外観を持っています。色彩計画においては、緑豊かな周辺環境との調和に配慮しながら、適度な変化の感じられる魅力ある住宅景観の創出を目指しました。本修繕計画において特徴的であったのは、敷地内の児童公園に面した4つの住棟の表面に描かれていた、可愛らしい動物の壁画です。修繕にあたり、自治会からこの壁画を残して欲しいという要望があり、外装の色彩計画と合わせて壁画のデザインも再考しました。



05

01 / 改修後の団地の様子

02 / 03 児童公園に面する妻壁

04 / 階段室廻りにアクセントカラーを展開した

05 / 改修前の団地の様子

EXTERIOR COLOR PLANNING

CLIMAT が考える 建築・構造物の色彩

色彩的な調和をつくり出す

私達が最も大切だと考えているのは、周辺環境との関係性を読み解くということです。色の良し悪しは単独で決定づけられるのではなく、常に周囲との相対的な関係によるものだからです。

色彩的な調和感を生み出すために基調色・補助色・強調色の関係が明確なカラーシステムを構築し、建築・構造物の用途や規模等様々な条件を検討しながら、その環境にふさわしい色彩を選択します。

人々の活動や自然の緑を生き生きと美しく見せる

まちで主役となるべきは、そこで毎日の暮らしを営む生活者であると考えます。その暮らしを支え、潤いや安らぎをもたらすのは自然の緑や草花です。都市部であれば尚更、街路樹や広場の緑は快適な環境づくりに欠かせない存在です。強い色彩で個の主張をいわずらに競い合うのではなく、人々の営みや自然の四季の変化が映えるまちなみをつくり出したいと考えています。

まちの賑わいや活気の創出に寄与する

統一感を強調するあまり、単調で均質な景観になってしまっ
ては、良好な景観とは言えません。ある時には積極的に多色を用い、細やかな分節を施すことで賑わいの創出に寄与したり、全体のバランスの中で、強調し雰囲気をつくり出して行く等、計画事例毎に様々な試みを検討しています。

設計者とのデザインコラボレーションによる 質の高い色彩デザインの実現

実施設計レベルの色彩計画において、建築設計者とのデザイン調整は不可欠な作業です。デザインコラボレーションと呼ばれるこの手法は、専門家達が計画から完成まで、一貫してデザインの方針を共有していることが最大の特徴です。建築・ランドスケープ・照明…。これらの分野のプロフェッショナル達と共に、完成度の高いデザインの具現化に向けて、常に柔軟な姿勢を持ってプロジェクトに取り組んでいます。



地球を感じる タワーレジデンス

臨海部に位置するタワーマンションの計画です。足元レベルには豊富な植栽が植わり、中層階からは運河を、高層階からは空を眺められることから、デザインコンセプト「EARTH FRONT TOWER」を立案しました。デザインコンセプトに基づいて、基壇部では大地を感じさせる大判のせっき質タイルを展開し、空に向かうにつれて軽快さが増す素材・配色を検討しました。また、敷地は白を基調としたキャナルコート地区に立つことから、“白”が映える手法として白の隣に暗褐色を配することで明度対比を利かせた配色としています。メリハリの効いた対比によって遠景からも印象がぼやけることなく、凛とした立ち姿を確認できます。

本プロジェクトでは外装色彩計画の他、インテリアデザイン・アートコーディネートも含めトータルなデザインマネジメントを行いました。



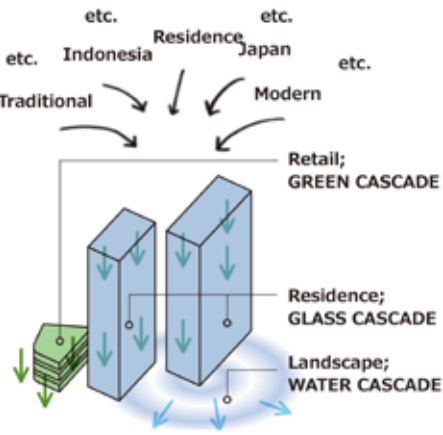
- 01 /
デザインコンセプト・イメージダイアグラム
- 02 /
運河より計画地を見る
- 03 /
アプローチに面する水盤・基壇の柱はせっき質の特注大判タイル
- 04 /
メインエントランス
- 05 /
高層部からは東京の臨海部を一望できる
- 06 /
保育園棟
- 07 /
運河沿いの遊歩道より計画地を見る



「水」を感じさせるファサードデザイン

本計画は開発の進むインドネシア南ジャカルタ・Shimatupang 地区に位置しています。周辺では高速道路の開通やジャカルタ都市高速鉄道（MRT）の開通が予定され、病院や商業施設などの生活利便施設、インターナショナルスクールが点在するポテンシャルの高い立地です。

計画に着手するにあたりジャカルタの風土・文化や街の色などの調査を実施。日本の価値観とインドネシアの文化・風土・価値観がこの場所で融合する場所にしたいという想いから、物件のコンセプトを「水」とし、建物の内外にストーリーを展開しました。基壇部ではジャカルタの地域性を大地を思わせる質感ある素材の展開を予定しています。



01



02



03



04



05



06



07

- 01 /
デザインコンセプト・イメージダイアグラム
- 02 /
ジャカルタ市内
- 03 /
調査風景
- 04 /
基壇部イメージ
- 05・07 /
外観 イメージ
- 06 /
エントランス イメージ
- 08 /
モデルルーム



08



01

都市的の魅力づくりと自然との調和

緑あふれるテラスやパティオ、光が降り注ぐオープンモールなど、都市部でありながら自然の恵みを体感できる建築設計を生かすため、外装基調色は暖色系の低彩度色中心とし、緑が映える穏やかで居心地の良い空間の演出を目指しました。

長大な壁面が圧迫感を与えないよう、建物の形状に合わせてストライプパターンを展開したり、明度差を生かした配色を行うなど、色彩による細やかな分節化を図っています。

01 / 02 / 03

壁面の凹凸が街並みにリズムカルな変化を与える正面ファサード

04 /

濃色を効果的に用い店舗サインが映える地としての壁面デザイン

05 /

ゆったりとした歩行空間を彩る豊かな植栽

06 /

建材のモジュールを生かしたパターンデザイン



02



03



05



06



04

事業主：東急不動産（株） 設計監理：（株）安井建築設計事務所・（株）東急設計コンサルタント共同企業体

外装色彩計画：CLIMAT



01



02

事業主：野村不動産（株）他 ブロックアーキテクト：都市環境研究所 土田 旭 外装色彩計画：CLIMAT

コラボレーションから生まれる多様な表情

街区全体の設計・デザインを調整するアーバンプランナーを筆頭に、3人の建築家（柴田知彦氏・南條洋雄氏・渋谷一彦氏）が設計を担当。他、照明の近田玲子氏、ランドスケープの上山良子氏ら、各設計者とのコラボレーションにより、色彩計画が進められました。

01 /

交差点に面した円形住棟

02 /

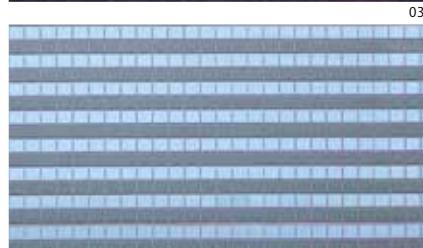
公園東の街全景



住棟の個性を表現する5つの色相

映画会社撮影所の跡地に建設された大規模マンションの計画です。アウトフレームの壁面が連続するファサードを、建築の意匠に合わせた色彩で分節化を図り、長大な水平方向のヴォリューム感を軽減しました。サブカラーを展開した外装のタイル部分では、単色で面としての色彩を強調するのではなく、彩度を十分に押えたグレイッシュな色彩と、淡いパステルカラーによる2色のストライプパターンを用い、柔らかな表現としています。各棟に展開した5つの色相を各棟のテーマカラー・サインカラーとしてトーンに変化をつけながら展開させることにより、各棟の識別性を高めました。

- 01 / 外観全景
- 02 / エントランス棟
- 03 / エントランゲート
- 04 / ファサードタイルのディテール
- 05 / 各棟のテーマカラーを配したサブエントランス



武蔵野の大地を継ぐ集合住宅

外装色彩は、“武蔵野の大地”をイメージし、大地の土や砂の持つ穏やかで暖かみのある色調を選択しました。また、厚みの異なるタイルによる貼り分けを行い、質感のある帯状のラインが、堀の深い重厚感のあるファサードを生み出しました。自然な色むらによるタイルパターンが、植栽と共に繊細で豊かな表情をつくり出します。建築の意匠に併せた壁面の分節は、明度対比を明確にすることを意識し、やや明度の低い基調色の重さを強調し過ぎないよう留意しました。本計画では、外装色彩計画と共に共用部や住戸のインテリアデザインにも携わり、トータルにコーディネートしています。

- 01 / 着彩立面図。ランドスケープデザインとの関係など環境全体の関係性を調整しながら、計画を進めた。
- 02 / 植栽との調和を検討した外装タイルパターン
- 03 / 南側全景
- 04 / 中庭から南棟を見る
- 05 / エントランスホール アートウォール



都市的の魅力づくりと自然との調和

総開発面積約 2.2ha の敷地に、6 棟の集合住宅、2 棟のコミュニティ施設、2 つの公園と 3 つの広場からなる、幅員 11m の並木道を中心とした街並みの開発です。建築のデザインコンセプト「緑がうるおう次世代につなぐまち」をテーマに、配棟計画・建築計画に寄りそった色彩計画をご提案させていただきました。

社会・環境貢献緑地評価システム SEGES 2011 も取得した本計画は、竣工の時点ですでに緑の量が多く、並木道や提供公園、既存樹林を含む 5 つの広場が快適な住環境をつくっています。

各住棟ではダブルマリオンの内側にテーマカラーを配し、さりげないサインカラーとしての機能を付加しました。

01 /
新しく完成した街並みの様子

02 / 03
ダブルマリオンの内側に施された各棟のテーマカラー

04 /
歩行者の目に触れる基壇部には質感豊かなマテリアルを展開している

05 /
樹木の緑が映えるよう、住棟の基調色は彩度を抑え、落ち着いた表情とした

06 /
天然石を用いた館銘板

07 / 08
沿道の歩行者空間



01



02

03



04



05



07



08

成熟したまちづくりに向けて

文京施設が集い、インテリジェンスな雰囲気が漂う文京区本郷。まちの資産として永く親しまれる外観となるよう、上質な落ち着きと暖かみの感じられる景観の創出を目指しました。

控えめでありながら確かな個性と存在感を持たせるため、地域のシンボルである東大の赤門をイメージした弁柄色のタイルと、墨色のボーダータイルによるパターンを、外装デザインのアクセントとして展開しました。建築意匠のボリュームに合わせて、明快な明度差をつけた分節を行うことで、低層部の安定感や上層部の軽快感を演出しています。

石器質タイルの自然でしっとりした風合いが、色彩のコントラストに柔かな表情を与え、趣きのあるファサードをつくり出しました。



03



01



02

- 01 / 北側全景
- 02 / 風除室及びエントランスラウンジ
- 03 / 使用マテリアル

事業主：東急不動産（株） 設計・監理：（株）南條設計室 外装色彩計画：CLIMAT



01



02



03



04



05



06

団地風景の更新

閑静な住宅街にある荻窪団地の建替に伴う色彩計画を行いました。敷地内に育った樹木は可能な限り保存・移植が行われ、竣工直後から豊かな緑に囲まれた住環境が出現しています。低層ではあるものの14棟もの住棟が建ち並ぶ環境に適度な変化を与えるため、ファサードを特徴付けている“フィン”（マリオン）や基調色の濃淡を反転させたり、玄関周りにごく低彩度のアースカラーを配したりする等の工夫により、特に居住者のアイレベルにおける穏やかだが多様な変化を創出しました。ガラスや金属のルーバー手摺等、かつての団地には無かった素材と、長く住民に親しまれてきた基調色、穏やかなオフホワイトの調和を目指し、時代にふさわしい新しい団地の風景の再生を図りました。

- 01 / 共用棟
- 02 / B街区内部
- 03 / B街区南側バルコニー
- 04 / サインカラーを展開した車道上のブリッジ
- 05 / 住棟毎に異なる色を展開した玄関周り
- 06 / B街区西側・1階テラス付住戸

事業主：UR都市機構 設計・監理：（株）山設計工房・（株）集研設計 外装色彩計画：CLIMAT

INTERIOR DESIGN

CLIMAT が考える インテリア空間

物件コンセプトと連動したデザインストーリー

色彩的な統一感の形成を目指し、私たちはインテリアの計画であっても、物件コンセプトを詳細に検討し、外観やランドスケープとの関係性を丁寧に読み解きながらデザインストーリーを紡いでいきます。建築デザインとインテリア、ランドスケープ等、専門分野に関する様々な枠組みはありますが、色彩はそれら全てに関わっており、デザインにおける一貫性を構築するために欠かせないものであると考えます。

色彩調和を意識したインテリア・カラーデザイン

色彩をイメージや心理学的な効果で捉えるカラーコーディネーションとは異なり、弊社では色相・明度・彩度という色彩の3属性のコントロールによる、色彩的な調和感の形成を基本としています。

特に、永く住み続ける住環境において、“違和感がない”ということは大変重要です。住む人の持ち物や生活が加わって、生活は成り立ちます。その生活のための器である住まいは、主張を控えることで多様なライフスタイルに対応し、個々のアレンジの幅が豊かな広がりを持つと考えています。

心地よく記憶に残る モデルルームデザイン及びコーディネーション

モデルルームデザインは、実際の生活シーンを想定して家具配置を検討したり、照明器具やファブリックのセレクトを行います。お客様に見て満足して頂くための要素、例えば空間的な広がりやゆとり、機能性…。そういった点に関しては当然、細かな気配りを行います。

私達がより大切だと考えるのは、体感することでは得られない、言葉では記述することのできない要素、たとえば間接照明が作り出す柔らかな陰影や奥行きの変化、建材や家具の手触り、ほのかで安らかな香り…といった繊細な豊かさを感じることのできる“場”をつくり出すことです。ゆったりとした心地よさを感じつつ、その“心地良い感じ”がいつまでも記憶に残ること。素材と色彩を駆使して、快適な場をつくって行きたいと考えています。



01

AIR FRONT RF			Sky Deck 空と繋がる開放感 夜に輝く星のよう な輝かしさ	⇒ 風邪の抜ける 天空の庭
SKY FRONT 45F - 46F			Party Room 大人気で楽しく、 にぎやかに集う 平日夜の賑やかさ 快活大人の気分の サロン	⇒ 華やかな煌めき 上質なくつろぎ
CANAL FRONT 30F - 31F			Guest Room 開放感と明るさ 活感溢れたリゾート感 空中庭園 すがすがしい空気を 美しく感じる	⇒ さわやかな明るさと 開放感
GREEN FRONT 15F - 16F			Guest Room 自然の息を 感じる静寂 空中庭園 ゆったりとした寛ぎ 自然のオアシス	⇒ 自然の落ち着きと ゆるやかな時の流れ
EARTH FRONT 2F - 3F			Guest Room 大地の温もり 心地よい安らぎ 空中庭園 風の静寂、空の奥行き	⇒ 自然の優しい温もりと 上質なくつろぎ
Entrance Hall			Entrance Hall & Cafe 水辺を楽しむラウンジ 空と繋がり広がる眺め 秘密の抜け道 空に広がるEVシャフト	⇒ 空間の広がり と光の変化

02



04

地球を感じる タワーレジデンス

臨海部に位置するタワーマンションの計画です。プロジェクトのデザインコンセプト「EARTH FRONT TOWER」を踏襲し、インテリアデザインにおいても1Fでは「大地・木漏れ日」、45Fに位置するパーティールームでは「星空」、というように多様なシーンを想定しデザインの検討を進めました。下層階から上層階に登るにつれてシーケンスが変化し、同時に空間を構成する素材・色彩も変化します。本プロジェクトではインテリアデザインの他、外装色彩計画・アートコーディネーションも含めトータルなデザインマネジメントを行いました。



03

- 01 / 1F エントランスラウンジ
- 02 / 各フロアにおけるデザインコンセプト
- 03 / 1F カフェテリア
- 04 / 45F パーティールーム
- 05 / 16F ゲストルーム 2
- 06 / 16F 空中庭園 2
- 07 / 17F 空中庭園 3
- 08 / 1F エントランスホール
- 09 / 1F EV ホール
- 10 / 1F キッズルーム



05



06



07



08



09



10

マスキュリン&エレガント

エレガントでありつつも甘すぎない、シックでありながらもクールになりすぎない、「マスキュリン&エレガント」をデザインコンセプトにインテリアデザインおよびコーディネーションを行いました。

ベージュ系の緩やかなグラデーションと場を引き締める墨色、ファブリックの繊細な柔らかさとステンレスの硬質さ、マットな質感と鏡面仕上げの煌めき感といったように各要素を対比的に用い、互いの素材の魅力が引き立てあうことを意図しました。

また、部屋の中でフォーカルポイントとなる壁面には“フトコロ”を設け、照明効果と合わせて空間の広がりを感じられるよう配慮しています。リビングの一角を利用したフトコロには、せっき質のタイルを貼りこみ、主寝室のベッドヘッドに設けたフトコロからは読書灯としての間接照明を組み込んでいます。



01



03



02



04



05

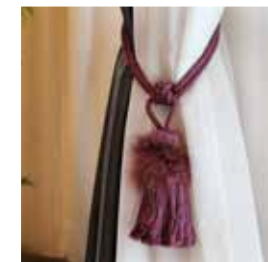
01 /
センターテーブルディスプレイ

02 /
ダイニングコーナー

03 / 04
リビング

05 /
主寝室

06 / 07 / 08 /
リビングのしつらい



06



07



08



01

最寄り駅から徒歩7分、賑わいのある商店街からも程近い立地に立つ集合住宅のクラスキムおよびモデルルーム・デザインを手がけました。“上質な日常”をテーマに掲げ、木質感の感じられる素材と間接照明によって、穏やかな時の流れを感じさせる演出を試みました。特注で設えた造作家具にはアクセントとして、マットな表情の黒御影石・鏡面仕上げのステンレス・適度に色むらのあるモスグリーンの素焼きモザイクタイル等を展開し、生活の様々なシーンを彩ります。

- 01 / リビングコーナー
- 02 / ダイニングコーナー
- 03 / 木彫りのディスプレイ
- 04 / エントランスニッチ
- 05 / ダイニング上のディスプレイ



03



04



05



01

最寄駅から徒歩数分の恵まれた立地に立ち、イチョウ並木に面して各住戸の開口部が面している集合住宅の計画です。ダイニングからリビングにかけてのびやかなプランニングを行い、“窓辺の景”をテーマにコーディネートを行いました。想定した家族像は珈琲の焙煎を趣味とする夫と、ガラス工芸に励む妻、そして子ども1人の3人家族。それぞれの趣味が生活にしみ出てくるディスプレイを展開しました。

- 01 / リビング
- 02 / 親子スタディコーナー
- 03 / 窓からリビングを見る
- 04 / ベッドルーム
- 05 / 小物類のディスプレイ



05



02



03



04

CLIMAT MAIN PROJECT

1999 - 2015

1999 - 2001

1999

■ 藤沢団地建替 2BL 先工区 外装色彩実施計画	神奈川県	藤沢市
■ 晴海 1 丁目地区 E 1, E 2, W 棟 外装色彩設計	東京都	中央区
■ 前原団地建替 外装色彩実施計画	千葉県	船橋市
■ 幕張新都心 H-1 ①街区 外装色彩計画	千葉県	千葉市
■ 横須賀海辺ニュータウン商業施設 外装色彩提案	神奈川県	横須賀市
■ 東急アルス逗子被露山プロジェクト 内外装色彩計画	神奈川県	逗子市
■ 東急元代々木プロジェクト 色彩計画	東京都	渋谷区
■ 大宮宮原地区景観形成色彩計画	埼玉県	さいたま市
■ 兵庫県山崎町景観形成地区指定調査	兵庫県	宍粟郡

2000

■ 横須賀海辺ニュータウン R3 街区 色彩調整	神奈川県	(株) 南條設計室
■ 大宮宮原地区住棟外装色彩計画	埼玉県	都市基盤整備公団
■ 藤沢団地建替 2BL 後工区 外装色彩実施計画	神奈川県	都市基盤整備公団
■ アーベインルネス香椎 外装色彩計画	福岡県	(株) 汎建築研究所 九州事務所
■ 港北ニュータウン阪急モザイクモール 外装色彩計画	神奈川県	(株) 竹中工務店
■ INAX 住宅外装外構材カラーシステム設計	-	(株) INAX
■ 多摩平団地建替事業 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団
■ 相模原市環境色彩調査	神奈川県	相模原市
■ 汐留 H 街区超高層住棟 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団
■ セ・パルレ中央林間 内外装色彩計画	神奈川県	東急不動産 (株)
■ エクセル三番町 外装色彩計画	東京都	(有) アム・ザイン
■ 大和イトーヨーカドー 外装色彩計画	神奈川県	(株) 東急設計コンサルタント
■ グランフォーレヒルブリーズ戸塚 内外装色彩計画	神奈川県	中央商事 (株)・東急不動産 (株)

2001

■ 東急戸建住宅大磯 外装色彩計画	神奈川県	東急不動産(株)
■ 公団霞ヶ丘団地 外装色彩計画	福岡県	都市基盤整備公団
■ 川口青木 4 丁目団地 外装色彩計画	埼玉県	都市基盤整備公団
■ 八街清掃工場 内外装色彩計画	千葉県	ユニチカエンジニアリング
■ 相模原市環境色彩基準策定	神奈川県	相模原市
■ 新田三丁目地区 外装色彩基本計画	東京都	都市基盤整備公団
■ 新浦安マリナースト集合住宅 外装色彩計画	千葉県	(株) 東急設計コンサルタント
■ シエルズガーデン 外装色彩計画	東京都	野村不動産 (株)
■ 飯田市駅前再開発色彩計画	長野県	(株) 南條設計室
■ 松ヶ丘都市型住宅開発色彩計画	-	東急不動産 (株)
■ 茅ヶ崎市色彩ガイド調査業務委託	神奈川県	茅ヶ崎市
■ 水戸駅南口周辺地区景観設計色彩計画	茨城県	水戸市
■ 荒川沖駅西口第 1-A 地区市街地再開発さらさ荒川沖 内外装色彩計画	茨城県	株木建設 (株)
■ 八街市クリーンセンター色彩計画	千葉県	ユニチカエンジニアリング
■ 関門景観色彩基準策定	山口県	北九州市・下関市
■ 葛西処理場煙突デザイン色彩設計助言	東京都	三菱重工
■ まちの色彩ガイドライン策定	神奈川県	相模原市
■ 鎌倉芸術館周辺景観形成地区基礎調査	神奈川県	鎌倉市
■ 上越市公共公益施設色彩改善計画作成調査	新潟県	上越市
■ 岩槻市川通り公園野球場 色彩基本計画	埼玉県	岩槻市
■ 六甲道駅南口第 4 地区再開発ビル 外装色彩調整	兵庫県	(株) 安井建築設計事務所

2002 - 2004

2002

■ 高島平団地改修 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ 東急ラ・パルフェ品川 内外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ 東急セレクトスクエア八雲 外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ 藤沢団地 (建替) 2BL 後工区 外装色彩計画	神奈川県	都市基盤整備公団 神奈川地域支社
■ 上池袋一丁目住宅 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ 祖師谷 3 丁目複合施設 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ プラザシティ相模大野 外装色彩計画	神奈川県	都市基盤整備公団 神奈川地域支社
■ 戸田市環境色彩調査	埼玉県	戸田市
■ 文京区色彩ガイドライン策定	東京都	文京区
■ 東京国際ターミナル地区景観形成色彩計画	東京都	(株) 梓設計
■ 中国盤錦市環境景観色彩計画	中国遼寧省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
■ 柏市環境色彩調査・計画	千葉県	柏市
■ 戸田市環境色彩計画	埼玉県	戸田市
■ 北九州響灘環境色彩計画	福岡県	北九州市
■ 立場駅前 S C プロジェクト 外装色彩計画	神奈川県	(株) 東急設計コンサルタント
■ 港南中央ビル 外装色彩計画	神奈川県	(株) 東急設計コンサルタント

2003

■ 東急池尻 3 丁目プロジェクト 外装色彩計画	東京都	東急リロケーション (株)
■ アデニウム高輪 内外装色彩計画	東京都	(株) ジョイントコーポレーション
■ ジェイパーク目黒Ⅳ 内外装色彩計画	東京都	(株) ジョイントコーポレーション
■ 東急アルス武蔵小杉 内外装色彩計画	神奈川県	東急不動産 (株)
■ 新田三丁目地区 色彩実施設計	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ アーベイン貝塚 外装色彩計画	福岡県	都市基盤整備公団 九州支社
■ 武蔵境マンション 外装色彩計画	東京都	野村不動産 (株)・(株) S K M 設計計画事務所
■ 東急渋谷大山町マンション 内装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ 立川駅北口 B 地区建築計画 外装色彩設計	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ グランフォーレ戸塚 内外装色彩計画	神奈川県	中央商事 (株)・東急不動産 (株)
■ 東急萩中 3 丁目マンション 内装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)・有楽土地
■ 飯島団地改修 外装色彩計画	神奈川県	都市基盤整備公団 神奈川支社
■ ネオパス新百合ヶ丘 外装色彩計画	神奈川県	日土地総合設計 (株)
■ 左近山団地改修 外装色彩設計	神奈川県	都市基盤整備公団 神奈川地域支社
■ ライオンズガーデン北烏山 外装色彩計画	東京都	(株) S K M 設計計画事務所・(株) 南條設計室
■ アーベインルネス大橋 (建替) 外装色彩基本計画	福岡県	九州都市整備センター
■ ひばりが丘団地 (建替) 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団 東京支社
■ 戸田市環境色彩ガイドライン策定	埼玉県	戸田市
■ 富山県環境色彩ガイドライン策定	富山県	富山県
■ 柏市環境色彩ガイドライン策定	千葉県	柏市
■ 越谷レイクタウン色彩計画	埼玉県	(株) 久間建築設計事務所

2004

■ 桃井 3 丁目マンション外装色彩計画	東京都	大和ハウス工業 (株)
■ 奈良県色彩ガイドライン策定調査	奈良県	奈良県
■ ひばりが丘団地 (建替) 外装色彩計画	東京都	都市基盤整備公団
■ サンクタス本郷台 内装色彩計画	神奈川県	(株) オリックス・リアルエステート
■ (仮称) 逗子新宿社宅跡地計画 内外装色彩計画	神奈川県	東急不動産 (株)
■ サンクタス栗平Ⅱインテリアデザイン	神奈川県	(株) オリックス・リアルエステート

- 色彩基準・色彩ガイドライン

■ 集合・戸建住宅

■ 商業施設・オフィス
- 公共公益施設・工場

■ コンサルティング

□ その他

2005 - 2007

2005

■ 西新井デザインガイドライン色彩基準策定	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 豊洲3丁目地区デザインガイドライン色彩基準策定	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 花小金井駅北口地区色彩ガイドライン策定	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 新亀有 SC 外装色彩計画	東京都	(株)東急設計コンサルタント
■ J R新幹線 N 700 系シートカラー検討	-	エイアンドエフ (株)
■ 幕張ベイタウン SH-3- ② 3 棟 外装色彩計画	千葉県	(株)都市環境研究所
■ 芦花公園南口地区ガイドライン色彩基準策定	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 大島六丁目団地改修に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 三協アルミ新日本色開発 P J に対するカラー提案	-	三協アルミニウム (現三協立山アルミ (株))

2006

■ アーベイン住吉通り 外装色彩計画	福岡県	都市再生機構 九州支社
■ ライオンズガーデン北鳥山 外装色彩計画	東京都	(株)南條設計室
■ ドレッセ荏田北マリス 内装色彩計画及びインテリアデザイン	神奈川県	東京急行電鉄 (株)
■ ドレッセ市ヶ尾ラネイ 内装色彩計画及びインテリアデザイン	神奈川県	東京急行電鉄 (株)
■ 南大井 P J 外装色彩計画	東京都	(有)アム・ザイン
■ ブラウド上杉 外装色彩計画	宮城県	(株)南條設計室
■ ブラウドー番町 外装色彩計画	宮城県	(株)南條設計室
■ 横須賀海辺ニュータウン環境色彩調査	神奈川県	財団法人 日本開発構想研究所
■ 新田 I 街区住棟 外装色彩基本計画	東京都	(株)日建ハウジングシステム
■ 祐天寺プロジェクト 外装色彩計画	東京都	パシフィックプロパティーズインベストメント
■ 多摩 N T ベルコリース南大沢 外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 豊島五丁目団外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 茅ヶ崎市浜見平地区デザインガイドライン策定	神奈川県	都市再生機構 神奈川地域支社

2007

■ ブランズ本郷台 外装色彩計画	神奈川県	東急不動産 (株)
■ ブランズ三郷中央 II 外装色彩計画	埼玉県	東急不動産 (株)
■ 横須賀海辺ニュータウン環境色彩基準策定	神奈川県	財団法人 日本開発構想研究所
■ 松原団地建替 外装色彩計画	埼玉県	都市再生機構 埼玉地域支社
■ みさと団地 外壁修繕に伴う外装色彩計画	埼玉県	都市再生機構 埼玉地域支社
■ 中国山西省大同市環境色彩ガイドライン策定	中国山西省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
□ 江北六丁目団地 サイン計画	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 京急糀谷駅舎 外装色彩計画	東京都	(株)東急設計コンサルタント
■ 京急蒲田駅舎 外装色彩計画	東京都	(株)東急設計コンサルタント
■ 多摩平団地 2 期色彩ガイドライン策定及び色彩調整	東京都	都市再生機構 東日本支社
■ 南光台 PJ 外装色彩計画	宮城県	(株)南條設計室
■ 中山 PJ 外装色彩計画	宮城県	(株)南條設計室
■ 新京成北習志野駅 外装色彩計画	千葉県	(株)東急設計コンサルタント
■ ローレルコート立石パークビューレジデンス 外装色彩計画	東京都	(有)アム・ザイン
■ ローレルコートお花茶屋 外装色彩計画	東京都	(有)アム・ザイン
■ クレセント金沢シーサイド 外装色彩計画	神奈川県	(株)南條設計室
■ ドレッセ南町田 内外装色彩計画	東京都	東京急行電鉄 (株)
■ ザ・ライオンズ武蔵野 内外装色彩計画	東京都	(株)南條設計室
■ 室住団地ほか 10 団地の外壁修繕に伴う外装色彩計画	福岡県	都市再生機構 九州支社
■ 井の頭自然文化園・環境色彩ガイドライン策定	東京都	(株)久間建築設計事務所
■ ストック改修デザインガイド (色彩計画編) 作成	-	(株)UR リンケージ

2008 - 2010

2008

■ 仏向町団地 (建替) 第 2・第 3 住宅 外装色彩計画	神奈川県	都市再生機構神奈川地域支社
■ 香椎団地 8 号棟 インテリアデザイン	福岡県	都市再生機構九州支社
■ 草加松原団地 7 ～ 9 号棟 外装色彩計画	埼玉県	都市機構埼玉地域支社
■ 北大塚駅前 P J 外装色彩基本計画	東京都	(有)アム・ザイン
■ 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業 外装色彩計画	神奈川県	(株)竹中工務店
■ みさと団地 外壁修繕に伴う外装色彩計画	埼玉県	都市再生機構埼玉地域支社
■ 宝台団地 外壁修繕に伴う外装色彩計画	福岡県	都市再生機構九州支社
■ 井の頭自然文化園 色彩ガイドライン運用編作成	東京都	(株)久間建築設計事務所
■ クオリア日本橋浜町 外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ ブランズ中野南台 外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ 武蔵境駅 S C 外装色彩計画	東京都	(株)東急設計コンサルタント
■ 中国湖南省長沙市環境色彩ガイドライン策定	中国湖南省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
■ 中国黒竜江省伊春市環境色彩色彩ガイドライン策定	中国黒竜江省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
□ 中国西蔓色彩 V I 計画	中国	北京西蔓色彩文化发展有限公司
■ 中国河北省唐山市 華潤電力発電所外装色彩基本計画	中国河北省	北京西蔓色彩文化发展有限公司

2009

■ ハートアイランド新田 J 街区 色彩ガイドライン策定	東京都	(株)UR リンケージ
■ 狹山市駅西口地区第一種市街地再開発事業 色彩調整	埼玉県	大日本コンサルタント (株)
□ 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業 サインデザイン監修	神奈川県	(株)竹中工務店
□ 鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業 ロゴマークデザイン	神奈川県	(株)竹中工務店
■ 阿倍野 A 1 地区第二種市街地再開発事業 A 2 棟 外装色彩計画	大阪府	(株)東急設計コンサルタント
■ ブランズ文京東大前 外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ ブランズ円山南 内外装色彩計画	北海道	東急不動産 (株)札幌支店
■ ブランズ円山南 モデルルームインテリアデザイン	北海道	東急不動産 (株)札幌支店
■ 豊四季台団地 (建替) 第一期後工区における色彩計画調整業務	千葉県	都市再生機構千葉地域支社
■ 豊四季台団地 (建替) 色彩ガイドライン調整業務	千葉県	(株)UR リンケージ
■ (仮称) 瀬田 4 丁目 P J 外装色彩基本計画	東京都	東急不動産 (株)
■ (仮称) 大島 3 丁目 P J 外装色彩基本計画	東京都	(株)東急設計コンサルタント
■ 中国江蘇省徐州市 環境色彩ガイドライン策定	中国江蘇省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
■ 中国河北省張家口市張北県 環境色彩ガイドライン策定	中国河北省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
□ 中国恒源祥社ニットデザイン カラー＆デザインコンサルティング	中国	北京西蔓色彩文化发展有限公司

2010

■ 所沢市景観計画における色彩基準策定	埼玉県	(株)U-Mac
□ 多摩動物公園環境整備	東京都	(株)久間建築設計事務所
□ 景観改善アクションプログラム・パンフレットデザイン	東京都	首都高速道路 (株)
■ (仮称) 桜上水団地 外装色彩基本計画	東京都	(株)日建ハウジングシステム
■ シャレール荻窪 外装色彩計画 (荻窪団地建替)	東京都	(株)山設計工房／U R 都市機構
■ 花鶴丘ほか 3 団地 外壁修繕に伴う外装色彩計画	福岡県	(株)汎建築研究所／U R 都市機構
■ 若久団地 建替計画のための環境色彩デザイン	福岡県	(株)汎建築研究所／U R 都市機構
■ 中国遼寧省営口市 環境色彩ガイドライン策定	中国遼寧省	北京西蔓色彩文化发展有限公司
■ ブランズ東雲 外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ ブランズ巣鴨 内外装色彩計画	東京都	東急不動産 (株)
■ ブランズ巣鴨 モデルルームインテリアデザイン	東京都	東急不動産 (株)
□ 首都高速道路大橋 JC 防音ハウス表示の色彩計画	東京都	(株)エムアンドエムデザイン事務所

- 色彩基準・色彩ガイドライン
- 公共公益施設・工場
- 集合・戸建住宅
- コンサルティング
- 商業施設・オフィス
- その他

2011

☐	柏駅周辺における景観形成事業	千葉県	千葉県柏市
☐	生麦仮囲いデザイン	神奈川県	(株) エムアンドエムデザイン事務所
☐	首都高景観 330 リーフレット作成	—	首都高速道路 (株)
☒	中国山東省烟台市牟平区都市色彩計画	中国山東省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国山西省柳林県都市色彩計画	中国山西省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	アーベイン渡辺通り南ほか 7 団地外壁色彩計画	福岡県	(株) 汎建築研究所／UR 都市機構
☒	アーベイン大橋ほか 4 団地外壁色彩計画	福岡県	(株) 汎建築研究所／UR 都市機構
☒	高洲第二団地外壁修繕に伴う外装色彩計画	千葉県	(株) 津路建築設計／UR 都市機構
☐	墨田区まちの色ワークショップ	東京都	東京都墨田区
☐	景観研修セミナー	東京都	東京都住宅供給公社
☒	(仮称) H 団地マンション建替事業	東京都	(株) 竹中工務店
☐	首都高池袋 PA 短時間停車用ロゴマークデザイン	山梨県	(株) エムアンドエムデザイン事務所
☒	富士北麓地域街路事業修景参考資料作成	山梨県	山梨県富士・東部建設事務所
☒	山中湖畔修景参考資料作成	山梨県	山梨県富士・東部建設事務所
☒	忍野村レストランいねや改修計画	山梨県	山梨県県土づくり整備部
☒	小金井公園弓道場 色彩コンサルティング	東京都	(株) 久間建築設計事務所

2012

☐	柏市まちの色ワークショップ	千葉県	千葉県柏市
☒	アーベインルネス曙ほか 5 団地外壁色彩計画	福岡県	(株) 汎建築研究所／UR 都市機構
☒	(仮称) アーベイン若久実施設計外装色彩計画	福岡県	(株) 汎建築研究所／UR 都市機構
☒	瑞江マンション・リノベーション計画	東京都	(株) 南條設計室／リビタ
☒	富士山世界文化遺産登録推進修景イメージ資料作成	山梨県	山梨県県土整備部
☒	ブラウド野沢インテリア及びモデルルームデザイン	東京都	野村不動産 (株)
☒	ブラウド野沢 外装色彩コンサルティング	東京都	(株) 南條設計室
☒	相模原マンション・リノベーション計画	神奈川県	(株) 南條設計室／リビタ
☒	河口地区修景イメージ資料作成	山梨県	富士河口湖町
☒	港南中央ビル外装改修計画	神奈川県	大和小田急建設 (株)
☒	O プロジェクト・外装色彩方針検討	東京都	大成建設 (株)
☒	身延山門内地区観光案内板デザイン	山梨県	身延町役場
☐	景観研修セミナー	東京都	東京都住宅供給公社
☒	北砂 5 丁目団地外装色彩計画	東京都	(株) 山設計工房／UR 都市機構
☒	青葉台一丁目 PJ インテリア及びモデルルームデザイン	神奈川県	東京急行電鉄 (株)
☐	首都高イメージ向上パンフレット作成	—	首都高速道路技術センター
☒	M プロジェクト・外装色彩方針検討	東京都	大成建設 (株)
☒	中国江蘇省無錫市都市色彩計画	中国江蘇省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国河北省威県都市色彩計画	中国河北省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国福建省福州市都市色彩計画	中国福建省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国福建省晋江市都市色彩計画	中国福建省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国河北省廊坊市都市色彩計画	中国河北省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	中国多楽士 (DULUX) 建築塗料色彩応用指導パンフレット	—	北京西蔓色彩文化発展有限公司

☒	色彩基準・色彩ガイドライン	☒	公共公益施設・工場
☒	修景デザイン	☒	コンサルティング
☒	集合・戸建住宅	☐	その他
☒	商業施設・オフィス		

2013

☒	ブラウドタワー東雲キャナルコート外装色彩計画	東京都	(株) 南條設計室
☒	ブラウドタワー東雲キャナルコートインテリアデザイン	東京都	(株) 南條設計室
☒	ブラウドシティ浦和外装色彩計画	埼玉県	(株) 南條設計室
☒	東松島市野蒜北部丘陵地区住宅・施設計画及びまちなみ・景観検討業務に関する色彩コンサルティング業務	宮城県	(株) 久間建築設計事務所
☒	プランズタワー札幌色彩計画	北海道	(株) 南條設計室
☒	ジャカルタ PJ	インドネシア	PT.TOKYU LAND INDONESIA
☒	王子 5 丁目団地外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	(株) 山設計工房
☒	ブラウド野沢インテリア及びモデルルームデザイン	東京都	野村不動産 (株)
☒	張家港金港片区都市色彩企画	中国江蘇省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	温州市瓯江口新区都市色彩規則	中国浙江省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	山東省臨沂市城市色彩規則	中国山東省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	山東省鄒平県中心城区城市色彩規則	中国山東省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	山東省東営市中心市街地色彩企画	中国山東省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	高洲第二団地 外装色彩デザイン	千葉県	(株) 津路建築事務所
☒	(仮称) 元石川第二第 85 地区 PJ	神奈川県	(株) 東急設計コンサルタント
☐	首都高イメージ向上パンフレット	—	首都高速道路技術センター
☒	精進湖 修景イメージ作成	山梨県	富士東部建設事務所
☐	景観研修セミナー	東京都	東京都住宅供給公社
☒	春日部市立病院	埼玉県	(株) 昭和設計

2014

☒	(仮称) 白金二丁目計画・景観協議用色彩調査	東京都	(株) 竹中工務店
☒	青戸第一団地外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	武蔵野緑町パークタウン外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	屋外広告物修景イメージ資料作成	山梨県	(株) 東洋開発コンサルタント
☒	北砂五丁目団地 9・10 号棟外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	北砂五丁目団地 4 号棟他外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	吹田市竹見台 4 丁目 6 番外外壁修繕に伴う外装色彩計画	大阪府	大阪府住宅供給公社
☒	福建省福州市公共設備色彩計画	中国福建省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	四川省都江堰市都市色彩規則設計	中国四川省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	馬鞍山市建築色彩規則設計	中国安徽省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	山西省大同市主城区都市色彩規則 (修正版) 設計	中国山西省	北京西蔓色彩文化発展有限公司

2015

☒	青戸第三・第五団地外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	(仮称) 甲州市色彩ガイドライン	山梨県	甲州市都市整備課
☒	春日部市立病院実施設計段階における各種色彩調整	埼玉県	(株) 昭和設計
☒	晴海二丁目計画／共用部インテリアデザイン調整	東京都	(株) 大林組
☒	プロムナード東伏見外壁修繕に伴う外装色彩計画	東京都	都市再生機構東日本支社
☒	(仮称) 大森西 4 丁目プロジェクト	東京都	大和ハウス工業 (株)
☒	LHC ベイ外装色彩計画	大阪府	大和ハウス工業 (株)
☒	27- 昭和町ほか 9 団地外装色彩計画策定その他業務	福岡県ほか	汎建築研究所九州事務所
☒	(仮称) A 計画／景観協議用色彩調査及びデザイン検討	東京都	大成建設 (株)
☒	公社賃貸住宅 (4 団地) 外装色彩実施計画案の現場監理等業務	大阪府	大阪府住宅供給公社
☒	民航 PJ 内外装色彩設計	中国北京市	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	甘肅省張掖市都市色彩規則設計	中国甘肅省	北京西蔓色彩文化発展有限公司
☒	上庄燃気熱電 PJ 内装色彩設計	中国北京市	北京西蔓色彩文化発展有限公司

--	--	--	--

